

平成16年度国土交通省関係予算概算要求 北陸地方整備局関連 参考資料

1) 安全・安心な地域づくり（災害対策の推進）

- 直轄石川海岸を延伸【新規】
石川海岸：石川県小松市、加賀市 …P1
- 大河津可動堰改築を推進
信濃川水系信濃川：新潟県分水町 …P2
- 緊急対策特定区間「堤防強化対策」を推進
信濃川水系信濃川：新潟県新津市、白根市他 …P3
- 登川上流第2号砂防えん堤の完成【完成】
信濃川水系魚野川：新潟県塩沢町 …P4
- 井田川の治水安全度向上（大坪用水堰改築）
神通川水系井田川：富山県八尾町 …P5
- 透過型有脚式突堤2基目の完成（新工法による海岸侵食対策）【完成】
下新川海岸：富山県黒部市 …P6
- 白岩砂防えん堤の保全対策工事の整備推進
常願寺川：富山県上新川郡大山町、中新川郡立山町 …P7
- 大規模引堤による治水安全度向上（梯川重点地区改修）
梯川水系梯川：石川県小松市 …P8
- 先端技術を駆使した完全無人化施工（柳谷上流砂防えん堤群の整備促進）
手取川水系牛首川：石川県白峰村 …P9
- 無堤地区の解消に向けて事業推進（千曲川無堤地区対策）
信濃川水系千曲川：長野県中野市、豊田村 …P10
- 緑の溪流を再生する浦川溪岸山腹工の促進（急峻な斜面での無人化施工）
姫川水系浦川：長野県小谷村 …P11
- 横川ダム 本体打設に着手
荒川水系横川：山形県小国町 …P12
- 阿賀川下流狭窄部改修を推進
阿賀野川水系阿賀川：福島県会津坂下町 …P13
- 滝坂地すべり対策事業の促進
阿賀野川（滝坂地区）：福島県西会津町 …P14
- 地域振興資源を保全し活力ある社会を支援（岩坪谷第4号砂防えん堤の整備推進）
神通川水系平湯川：岐阜県上宝村 …P15
- 小阿賀野川・能代川河川災害復旧等関連緊急事業の完成【完成】
信濃川水系小阿賀野川・能代川：新潟県新潟市、新津市、五泉市、横越町 …P16
- 後谷地すべり対策事業の完成【完成】
富山県小矢部市 …P17
- 富山海岸侵食対策事業の完成【完成】
富山海岸：富山県富山市 …P18
- 大野川床上浸水対策特別緊急事業【完成】
大野川水系大野川：石川県金沢市 …P19
- 氷見田鶴浜線の完成供用【完成】
主要地方道氷見田鶴浜線：石川県鹿島郡鹿島町 …P20
- 富山高山連絡道路 猪谷楡原道路の整備推進
一般国道41号：富山県上新川郡細入村 …P21

○新潟港海岸（西海岸地区）の整備推進 新潟港海岸：新潟県新潟市	…P22
○耐震岸壁（旅客船ターミナル）の整備推進 七尾港：石川県七尾市	…P23
○直轄福井港海岸の整備推進【新規】 福井港：福井県福井市 福井県坂井郡三国町	…P24
○敦賀港海岸（松原地区）の整備推進 敦賀港海岸：福井県敦賀市	…P25
○西川下流域雨水対策事業の完成（新潟市公共下水道事業）【完成】 新潟県新潟市	…P26
2）広域的連携交流・活力ある地域づくり（外との交流・内なる連携の推進）	
○西念立体（金沢地区交通対策）の完成【完成】 一般国道8号：石川県金沢市	…P27
○大野大橋（黒埼拡幅）の完成【完成】 一般国道8号：新潟県新潟市～白根市	…P28
○尾小屋布橋バイパスの完成【完成】 一般国道416号：石川県小松市	…P29
○富山環状線の完成供用【完成】 主要地方道富山環状線：富山県富山市～婦負郡婦中町	…P30
○能越自動車道 穴水道路の整備推進 一般国道470号：石川県輪島市～鳳至郡穴水町	…P31
○巻バイパスの部分供用 一般国道116号：新潟県西蒲原郡巻町	…P32
○小須戸田上バイパスの部分供用 一般国道403号：新潟県中蒲原郡小須戸町～南蒲原郡田上町	…P33
○柏崎高浜堀之内線の整備促進 主要地方道柏崎高浜堀之内線：新潟県刈羽郡西山町～長岡市	…P34
○新潟みなとトンネルの全線供用に向けた整備推進【完成】 新潟港：新潟県新潟市	…P35
○港湾拡張の整備推進 姫川港：新潟県糸魚川市	…P36
○多目的国際ターミナル[岸壁(-14m)]の整備推進 伏木富山港：富山県高岡市	…P37
○臨港道路(富山新港東西線)の整備推進 伏木富山港：富山県新湊市	…P38
○臨港道路(外港1号)の整備推進 伏木富山港：富山県高岡市	…P39
○港湾拡張の整備推進 魚津港：富山県魚津市	…P40
○漂砂対策と航路泊地の整備推進 金沢港：石川県金沢市	…P41
○多目的国際ターミナル[岸壁(-14m)(2)]の整備推進 敦賀港：福井県敦賀市	…P42
○J R北陸本線等連続立体交差事業（富山駅付近）着工準備【新規】 富山県富山市	…P43

○J R信越本線等連続立体交差事業（新潟駅付近）着工準備 新潟県新潟市	…P44
○都市計画道路 呉羽町袋線（富山大橋）整備推進 富山県富山市	…P45
○都市計画道路 鈴見新庄線（涌波工区）整備推進 石川県金沢市	…P46
○東京税関新潟税関支署東港出張所庁舎の整備着手 新潟県北蒲原郡聖籠町	…P47

3) 美しさと文化の香りがする地域づくり（暮らしやすい住環境の整備）

○地域と一体となった水環境改善の取り組み ・宇奈月ダム水環境改善事業 黒部川水系黒部川：富山県下新川郡宇奈月町	…P48
○堀之内消流雪用水導入事業を完成【完成】 信濃川水系魚野川：新潟県堀之内町	…P49
○川北町水辺の楽校プロジェクトの整備推進 手取川水系手取川：石川県川北町	…P50
○郷本海岸環境整備事業の完成【完成】 郷本海岸：新潟県寺泊町	…P51
○犀川河川環境整備事業の完成【完成】 犀川水系犀川：石川県金沢市	…P52
○片原町電線共同溝の整備推進 一般国道156号：富山県高岡市	…P53
○中央町拡幅の部分供用 一般国道415号：富山県氷見市	…P54
○くらしのみちゾーンの整備促進 新潟市豊照入舟地区	…P55
○信濃川左岸緑地の整備推進 新潟港：新潟県新潟市	…P56
○朝日町中央地区市街地再開発事業の補助完了 新潟県新井市	…P57
○金沢西部第二土地区画整理事業（海側幹線）の補助完了 石川県金沢市	…P58
○「野生ゾーン」の事業促進 国営越後丘陵公園：新潟県長岡市	…P59
○港まち新湊の魅力あふれるまちづくりを推進（まちづくり総合支援事業） 富山県新湊市	…P60
○總持寺周辺地区の街なみ環境整備の推進（街なみ環境整備事業） 石川県門前町	…P61
○七尾第2地方合同庁舎の完成【完成】 石川県七尾市	…P62
○新潟第2地方合同庁舎の整備推進 新潟県新潟市	…P63

直轄石川海岸を延伸 ～安全で快適な海岸の保全と創出～ 石川海岸（石川県小松市・加賀市）

要求内容

小松海岸、片山津海岸は石川県の小松市、加賀市にわたる海岸で、侵食が著しく、毎年のように護岸等の被災を受けています。

そのため、小松海岸、片山津海岸について、直轄石川海岸の延伸区間として、平成16年度より直轄工事に着手し、抜本的な侵食対策を行います。



小松海岸での被災状況（平成12年1月）



片山津海岸での越波状況（平成14年1月）

おおこうづかどうぜき
大河津可動堰改築を推進
～著しく老朽化した施設の改築及び流下能力不足の解消～
信濃川水系大河津分水路（新潟県西蒲原郡分水町）

1. 事業の概要

1) 目的

大河津可動堰は、信濃川と大河津分水路の分派点に位置し、昭和6年に完成して以来、洗堰^{あらいぜき}とともに大河津分水の根幹的施設(分流制御施設)として、治水、利水機能等に大きな役割を果たしてきました。しかし、設置後70年以上経過し、施設本体の老朽化が顕著となるとともに、敷高等の影響により流下能力不足が生じており、その抜本的対策が急務となっています。

可動堰が倒壊すると、信濃川に水が流れなくなり、越後平野の利水に甚大な被害をもたらすだけでなく、治水上も洪水時の右岸堤の破壊につながり、下流域に甚大な被害をもたらす可能性があるため、可動堰の改築が必要となっています。

2) 全体計画

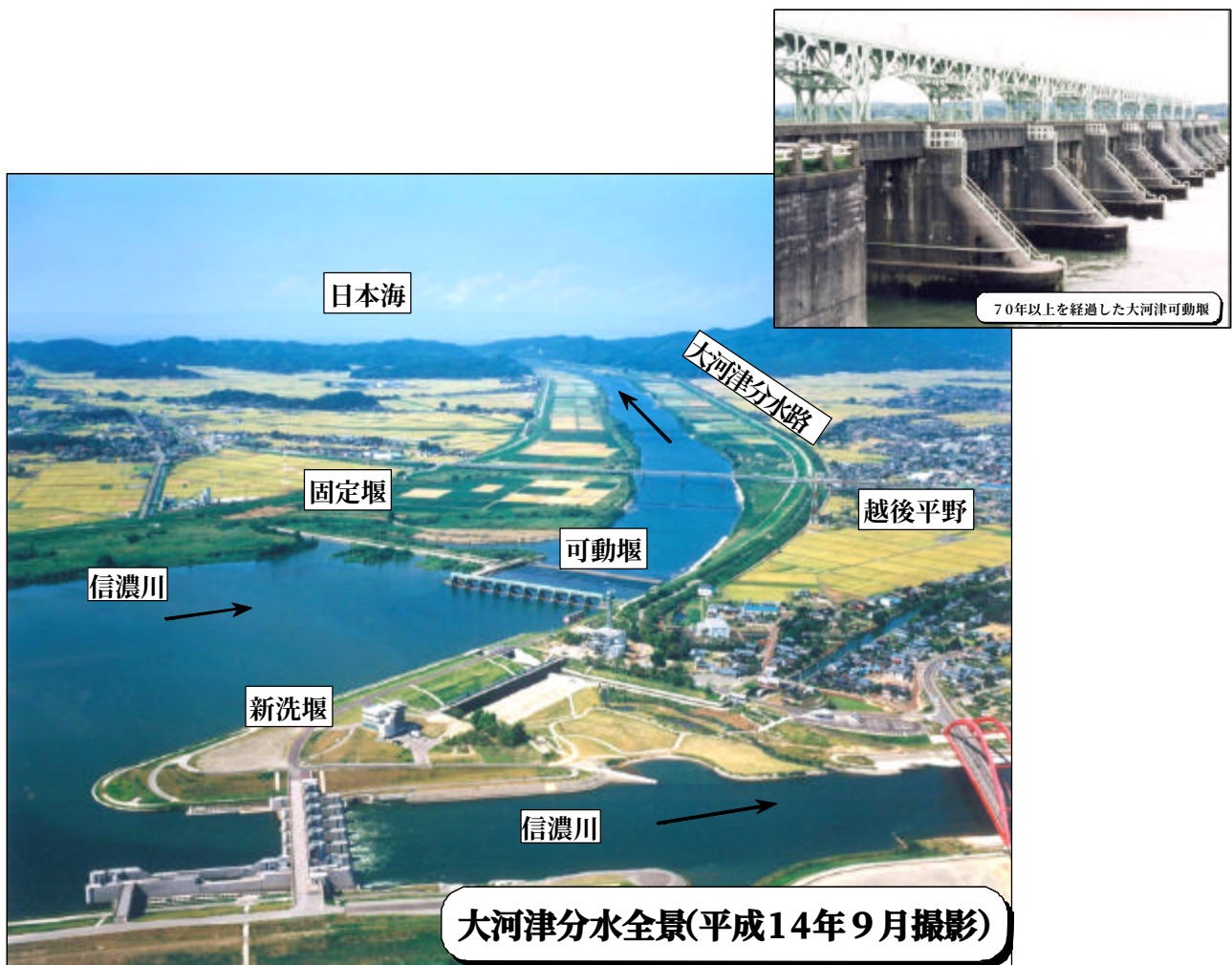
堰本体改築、低水路掘削 等

2. 事業の経緯

平成15年度に「特定構造物改築事業」により、改築事業に着手。

3. 平成16年度の要求内容

平成16年度は、堰下流河道掘削に着手します。



戦後最大(昭和53年)洪水への対応 ～緊急対策特定区間「堤防強化対策」を推進～ 信濃川水系信濃川(下流)(新潟県新津市、白根市ほか)

1. 事業の概要

1) 目的

信濃川下流は、その氾濫域に新潟県の主要な都市が存在するため、ひとたび氾濫が起きると甚大な被害が予想されます。しかし、いまだに堤防が低く、昭和53年6月の出水では堤防の高さまで水位が上昇し、水防活動の努力もあったものの、各地で湛水が生じるなど、まだまだ整備が遅れています。

本事業は、昭和53年洪水と同規模の洪水を安全に流下させることを当面の目的として、高さの低い暫定堤防を完成堤として整備する「堤防強化対策」を重点的に実施しています。

2) 全体計画

築堤、用地補償、樋管改築 等

2. 事業の経緯

平成9年度より、堤防強化対策に着手。

平成15年度より、緊急対策特定区間に設定、重点的に事業を実施しています。

3. 平成16年度の要求内容

平成16年度は、新津市大秋地先、白根市大郷地先ほかにおいて、用地補償、築堤等を実施します。

昭和53年出水状況



土砂災害を防止し自然環境との調和をめざす

登川^{のぼりかわ}上流第2号砂防えん堤完成

～新潟県南魚沼郡塩沢町～

1. 事業の概要

1) 目的

信濃川水系魚野川右支川登川^{のぼりかわ}は、昭和56年・57年の大出水をはじめ幾度となく土砂災害がくり返されてきました。流域の地質は脆弱であるとともに河床には大量の不安定土砂が堆積しています。再び大出水が発生すれば多量の土砂が流出し下流域に大きな被害を及ぼすおそれがあることから、土砂災害防止の観点から砂防えん堤を整備し、被害を軽減するものです。

当えん堤は、鋼製セルとダブルウォールで構成したスリットタイプの砂防えん堤であり、平常時には土砂を下流に流し河床低下を防ぎます。また、スリット構造のため溪流の連続性を妨げないことから生態系への保全も図られているとともに、えん堤内部には現場で発生した土砂を中詰め材として活用しコスト縮減を図ります。

2) 全体計画

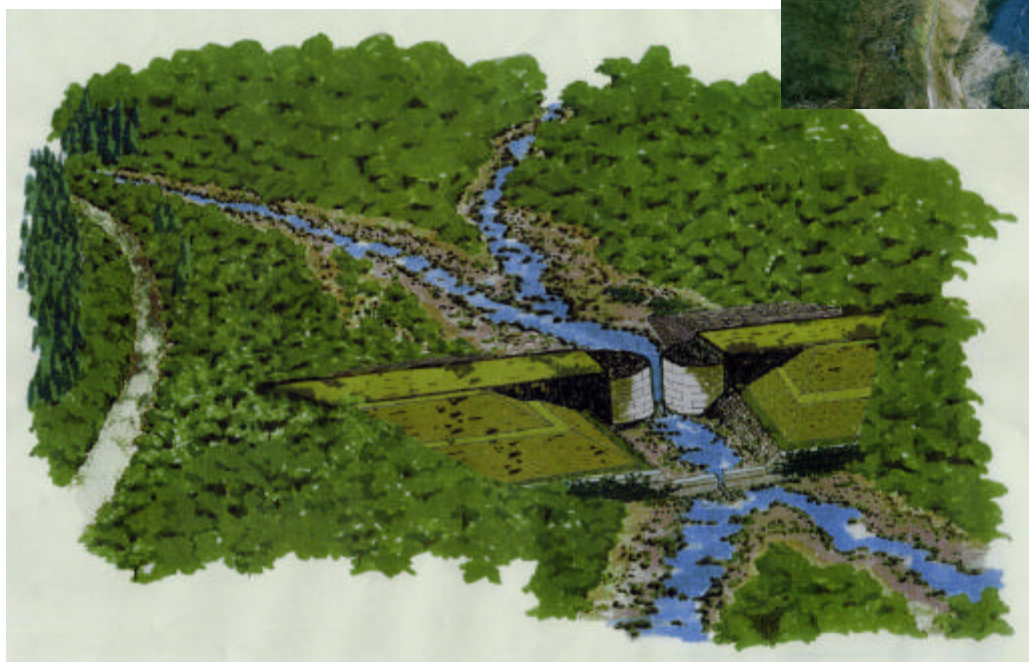
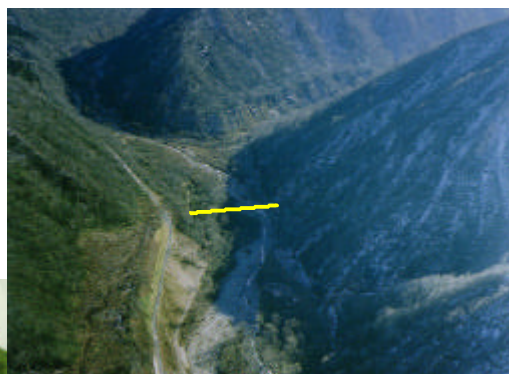
事業計画：砂防えん堤1基（高さ14.5m、長さ150.0m）

2. 事業の経緯

平成13年度から事業着手

3. 平成16年度の要求内容

砂防えん堤を完成させます。



登川上流第2号砂防えん堤完成イメージ図

おつぽようすいせき
大坪用水堰改築 本体工事を推進
～神通川支川井田川の治水安全度向上～
神通川水系井田川（富山県婦負郡八尾町）

1. 事業の概要

1) 目的

昭和41年に設置された大坪用水堰（農業用取水堰）は、神通川支川井田川の扇状地の扇頂部に位置し、治水上重要な箇所に設置されていますが、堰高が高く、かつ固定堰のため洪水流下時のネックとなっています。

そのため、流下能力の向上を図ることを目的に可動堰に改築するものです。

改築にあたっては、八尾町で実施する「まちづくり総合支援事業」と連携を図りながら実施しています。

2) 全体計画

堰改築、築堤護岸、河道掘削 等

2. 事業の経緯

平成14年度に「特定構造物改築事業」に採択され、改築事業に着手。

平成15年度より、堰本体工に着手しています。

3. 平成16年度の要求内容

平成16年度は、引き続き堰本体工及びゲート製作等を実施します。



透 過 型 有 脚 式 突 堤 2 基 目 を 完 成

～新工法による海岸侵食対策～

下新川海岸（富山県黒部市）

1. 事業の概要

1) 目 的

下新川海岸^{いくじ}生地地先は、海底勾配が1／3程度と極端に急勾配であり、富山湾特有の「寄り回り波」をはじめとする高波浪のエネルギーは減衰することなく海岸に押し寄せ、侵食の大きな原因となっています。また、侵食は海岸線のみでなく水深約15～20m地点においても進行していることが明らかになっています。

生地地先周辺の背後地は家屋連担地域であり、侵食や越波に対する安全性を確保することが急務となっていることから、波浪を制御し、前浜を確保するため、透過型有脚式突堤を整備します。

※ 透過型有脚式突堤：供給土砂（沿岸漂砂^{えんがんひょうさ}）を遮断することなく波浪を制御し、急勾配海岸でも設置が可能なように考えられた新工法。

2) 全体計画

透過型有脚式突堤（L=50m）

2. 事業の経緯

工法検討会の結果を踏まえ、平成12年度より透過型有脚式突堤整備事業に着手し、平成14年度に1基目が完成。引き続き、平成15年度より2基目に着手しています。

3. 平成16年度の要求内容

平成16年度は、2基目の透過型有脚式突堤を完成させます。



しらいわ 白岩砂防えん堤の保全対策工事の整備推進

～富山県上新川郡大山町・中新川郡立山町～

1. 事業の概要

1) 目 的

立山砂防の基幹えん堤である高さが日本一の白岩砂防えん堤（副ダム7基を含めた高さが108m）は、昭和44年洪水をはじめとする幾多の洪水時に土砂流出を抑制する機能を発揮し、富山平野を土砂災害から守ってきました。しかし、完成後約60年を経過し、右岸山腹の崩壊が著しくなってきたこと、また、現行基準に適合した安全な施設とするため、白岩砂防ダム保全対策の検討を行い、平成11年度から右岸山腹斜面の補強対策に工事着手しました。

事業の実施にあたっては、国の登録有形文化財になったこと等に鑑み、砂防ダムの景観はもとより、周辺環境をも損なうことがないように努めていきます。

2) 全体計画

- 保全内容
- （1）右岸山腹斜面の補強
 - （2）洪水を安全に流すための改築
 - （3）左岸盛土部の対策

2. 事業の経緯

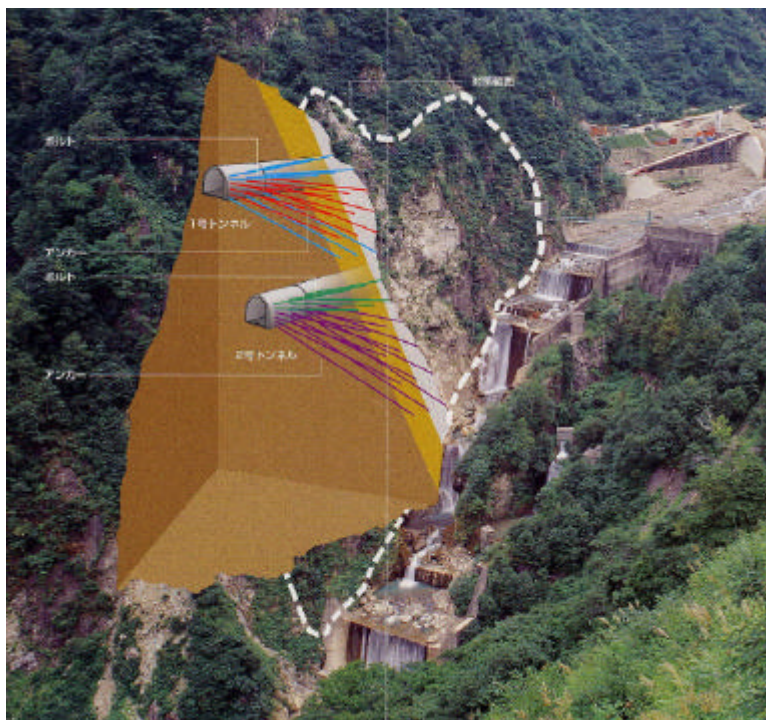
平成10年度より、建設省（当時）の土木工事としては初の設計・施工一括発注方式（デザイン・ビルド方式）として、右岸岩盤斜面の補強対策に着手しました。

平成14年度 右岸部斜面岩盤補強対策 第1期工事完成

平成15年度 第2期工事に着手

3. 平成16年度の要求内容

右岸山腹の補強対策工事を推進します。



白岩砂防えん堤右岸部斜面岩盤補強対策の概要

かけはし
梯川重点区間改修事業の促進
～大規模引堤による治水安全度の向上～
かけはし かけはし
梯川水系 梯川（石川県小松市）

1. 事業の概要

1) 目的

梯川水系梯川は小松市街地を貫流する都市型河川であり、氾濫域に人口、資産等が集中しており、また流下能力が大きく不足しているため、氾濫による被害は甚大なものが予想されます。

このため治水安全度の向上を目的に、特に流下能力が不足している1.0km～6.0km迄（前川合流点～白江大橋間）を重点改修区間と位置付け、下流部より順次引堤による堤防整備を行っています。

また改修区間には、小松天満宮（国指定重要文化財）が存在し地域のシンボルとなっていることから、現位置での保存を図る分水路方式による河川整備を行います。

2) 全体計画

築堤、旧堤撤去、橋梁架替、分水路整備 等

2. 事業の経緯

平成8年度の着手以降、河川改修に必要な用地取得、補償や引堤による堤防整備を実施しています。

3. 平成16年度の要求内容

引き続き重点改修区間である小松地区の堤防整備（引堤）等を実施します。



先端技術を駆使した完全無人化施工

柳谷上流砂防えん堤群の整備推進

～石川県石川郡白峰村～

1. 事業の概要

1) 目的

柳^{やなぎだに}谷第3号及び第6号砂防えん堤は、手取川最上流部の柳谷に位置し、白山砂防の足元を押さえる基幹えん堤です。

平成8年の出水により、これらの砂防えん堤が倒壊する危険性が生じたことから、このえん堤の補強を行い、上流側の河床堆積土砂の安定化を図ることを目的としてえん堤下流側において導流落差工^{どうりゅうらくさこう}及び既設えん堤嵩上げ工を実施します。

工事箇所は急峻かつ狭^{きょうあい}隘な河床内であり、土石流、落石の危険性が大きく、万一の非常時における避難時間の確保が非常に困難な現場であるため、河床内での作業は完全無人化による工法を採用し、工事中の安全確保を図ります。

2) 全体計画

事業計画：導流落差工、えん堤嵩上げ工、護岸工等

2. 事業の経緯

平成8年災害で柳谷第3号砂防えん堤の副えん堤及び第6号えん堤の左岸側流出。

平成8年度及び10年度に柳谷3号から6号えん堤間を災害復旧。

平成11年度より水叩き形式の落差工（全体計画11段）による抜本的対策に着手。

平成14年度 日本初の大形無人クレーン無人化技術開発に着手。15年度から施工。

3. 平成16年度の要求内容

落石等崩壊の危険性が高い左岸側の工事箇所において、無人の大形クレーンを使用した砂防えん堤工事を実施します。



大形無人クレーンのイメージ



柳谷上流砂防えん堤群

安心して暮らせる川づくり 無堤地区の解消に向けて事業推進 ～千曲川：立ヶ花下流部無堤地区対策を推進～ 信濃川水系千曲川（長野県中野市、豊田村）

1. 事業の概要

千曲川の立ヶ花下流部は川幅が狭く、無堤・弱小堤が連続しており洪水を安全に流すことができないため、昭和56年、57年、58年と連続した大出水のときは大きな浸水被害が生じました。

そのため、昭和56年、57年、58年の洪水を安全に流すことを目的に、無堤地区対策を計画的に実施しています。

2. 事業の経緯

整備にあたっては、浸水被害の多い家屋連担箇所を中心に築堤を実施してきており、全体13箇所のうち平成14年度までに7箇所が概成しています。

中野市柳沢地先については平成14年度に着手、豊田村替佐地先については平成10年度に着手し、現在事業を実施しています。

3. 平成16年度の要求内容

平成16年度は、中野市柳沢地先と豊田村替佐地先において用地補償及び築堤を実施し、早期完成にむけて事業を推進します。



中野市
柳沢地先
S58出水 浸水状況



豊田村
替佐地先
S58出水 浸水状況

緑の溪流を再生する浦川溪岸山腹工の推進

急峻な斜面での無人化施工 ～長野県北安曇郡小谷村～

1. 事業の概要

1) 目的

浦川流域は、風吹岳、稗田山を水源とする流域面積22km²の荒廃河川です。流域内は火山堆積物や来馬層からなる極めて脆弱な地質で、明治44年に大災害を引き起こした「稗田山の大崩壊」があり、過去、幾多の土石流が発生し、多大な被害を与えてきたほか、平成7年7月出水には、大量の土砂を姫川本川に流出させて鉄道、道路や民家に被害をもたらしました。このため、平成14年度より浦川溪岸山腹工に着手し、土砂生産源となっている溪岸斜面の崩壊を防止し、浦川への土砂流出抑制と流路の安定を図るものです。

また、工事箇所は急峻かつ狭隘な河床内であり、斜面崩落、土石流の危険性が大きく非常時における避難が困難な現場であるため斜面での作業は無人化による工法により工事中の安全確保を図ります。

2) 全体計画

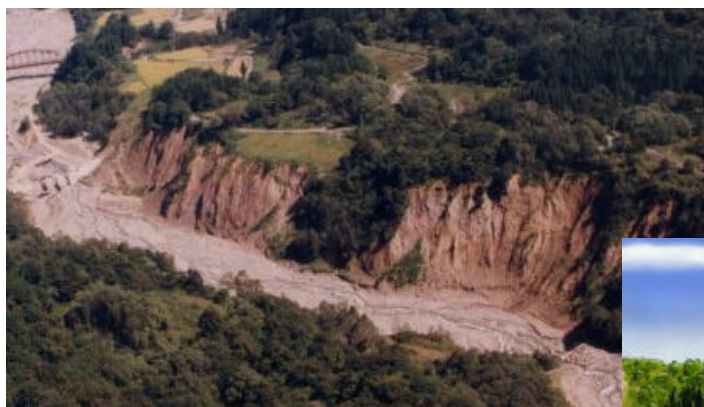
事業計画：山腹工、溪岸工等

2. 事業の経緯

平成14年度より事業着手し山腹工を実施。

3. 平成16年度の要求内容

平成16年度は引続き山腹工の整備を推進します。



浦川の溪岸斜面の崩壊状況



無人機械による施工状況



緑化後のイメージ図

横川ダム 本体打設に着手

やまがたけんにしおきたまぐん おぐにまち
山形県西置賜郡小国町

1. 事業の概要

1) 目的

- ① 洪水調節
(ダム地点の基本高水流量 $880\text{m}^3/\text{s}$ のうち、 $570\text{m}^3/\text{s}$ の洪水調節を行う。)
- ② 河川環境の保全のための流量確保
(ダム地点下流横川及び荒川沿川の既得取水の安定化等のための流量確保。)
- ③ 工業用水の供給
(小国町に対し、最大 $7,000\text{m}^3/\text{日}$ の工業用水を供給する。)
- ④ 発電
(横川ダムの建設に伴い、新設される横川発電所において、最大出力 $6,300\text{kW}$ の発電を行う。)

2) ダム諸元

- ダム形式：重力式コンクリートダム
- ダム高：72.5m
- 堤体積：約 27万 m^3
- 総貯水容量：2,460 万 m^3

2. 事業の経緯

- | | |
|---------------|-------------------|
| ○昭和 62 年度 | 実施計画調査着手 |
| ○平成 2 年度 | 建設事業着手 |
| ○平成 3 年 3 月 | 基本計画告示 |
| ○平成 3 年 12 月 | 補償基準妥結 |
| ○平成 13 年 11 月 | 付替道路の主要地方道川西小国線供用 |
| ○平成 15 年 3 月 | 横川ダム本体建設第 I 期工事発注 |

3. 平成 16 年度の要求内容

ダム本体工事を推進し、堤体コンクリート打設に着手するとともに、放流設備関係の製作据付を実施します。



ダムサイトを上流より望む

穏やかな流れへのプロジェクト ～阿賀川下流狭窄部改修を推進～ 阿賀野川水系阿賀川（福島県河沼郡会津坂下町）

1. 事業の概要

1) 目的

阿賀川下流の狭窄部は、川幅が狭く流下能力が少ないため、古くから会津盆地の水害の原因となっており、昭和57年9月の戦後最大規模の洪水では、沿川に大きな被害をもたらしました。

そのため、昭和58年から阿賀川下流狭窄部改修事業に着手し、平成10年度に泡の巻地区改修を完成し、引き続き津尻地区の河道掘削に着手しています。

2) 全体計画

河道掘削、護岸 等

2. 事業の経緯

平成10年度に泡の巻地区改修事業を完成し、引き続き平成11年度より津尻地区の改修に着手しています。

3. 平成16年度の要求内容

平成16年度は、会津坂下町津尻地先において河道掘削を実施し、早期完成にむけて事業を推進します。



大規模地すべりから阿賀野川流域を守る！

滝坂地すべり対策事業の推進

～福島県耶麻郡西会津町～

1. 事業の概要

1) 目的

阿賀野川水系阿賀川に接する滝坂地すべりは、面積約150ha、推定地すべり移動土塊量約4800万 m^3 であり、日本有数の大規模地すべりです。地すべり活動が活発化すると、その移動土砂が阿賀川を閉塞し、沿川に浸水被害などをもたらす懸念があるため、阿賀野川流域の治水上重要な箇所となっています。

このため、平成8年度より直轄事業として着手し、地すべりを発生させる誘因である地下水を排除する集水井等の整備を進めています。

2) 全体計画

事業計画：排水トンネル、集水井、排水ボーリング、集水ボーリング等

2. 事業の経緯

平成8年度	直轄事業として着手
平成11年度	下沢の目集水井群対策完了
平成14年度	大石出口集水井群対策完了

3. 平成16年度の要求内容

滝坂地区北部ブロック対策において優先度の高い松坂地区の対策を促進します。また、地すべり移動を観測する光ファイバーセンサーやGPS観測機器等のIT情報基盤整備によるソフト対策を実施します。



滝坂地すべりを上空より望む



GPS観測装置

地域振興資源を保全し活力ある社会へ

岩坪谷第4号砂防えん堤の整備推進

～岐阜県吉城郡上宝村～

1. 事業の概要

1) 目的

神通川水系平湯川右支川岩坪谷は、活火山「焼岳」の影響により、地質は火山性堆積物などから構成され、非常に脆弱で荒廃が激しい溪流です。えん堤位置より上流は荒廃が著しく、また河床には不安定な土砂が堆積しており、大出水時には多量の土砂流出により下流に位置する新平湯温泉や国道471号線に大きな被害を及ぼすおそれがあります。新平湯温泉は年間20万人を越えるの観光客が訪れ、また、国道471号線は奥飛騨地方と長野県とを結び首都圏からの観光客を迎える観光アクセス道でもあり、万一被災すれば当地域の振興に影響を与えるおそれがあることから、砂防えん堤を整備し被害を軽減するものです。

2) 全体計画

事業計画：砂防えん堤1基（高さ14.5m、長さ56.0m）

2. 事業の経緯

平成11年度 用地買収

平成12～14年度 工事用道路

平成15年度 えん堤本体工事に着手

3. 平成16年度の要求内容

えん堤本体の工事を推進します。



こあがのがわ のうだいがわ 小阿賀野川・能代川河川災害復旧等関連緊急事業の完成

新潟県 新潟市、新津市、五泉市、中蒲原郡横越町

1. 事業の概要

平成12年7月15～16日の梅雨前線豪雨により、能代川上流部の五泉市・中蒲原郡村松町では、能代川の越水により床上172戸、床下535戸にも及ぶ甚大な浸水被害が発生しました。

このため、再度災害の発生を防止するため、能代川被災箇所の災害復旧助成事業とともに、下流の能代川及び小阿賀野川で河川災害復旧等関連緊急事業(*1)を実施し、重点投資により上下流一体となった抜本的治水対策を平成16年度に完成させます。

○全体計画

○小阿賀野川工区

- ・直轄事業 L=270m
(信濃川合流点～亀鶴橋)
- ・補助事業 L=6,360m
(亀鶴橋上流～能代川合流点)

○能代川工区(補助事業) L=12,200m (小阿賀野川合流点～三ツ郷屋橋)



H12.7被災状況 五泉市町屋地先)

2. 事業の経緯

- 平成12年度 事業着手
- 平成15年度 直轄事業完成
- 平成16年度 補助事業完成

3. 平成16年度の要求内容

○小阿賀野川工区(補助事業)

築堤護岸、橋梁架替等を実施し事業を完成させます。

○能代川工区(補助事業)

掘削、築堤、新津川水門、荻曾根川水門等を実施し事業を完成させます。



能代川の復緊急事業最上流部 五泉市五百地先) 平成14年11月撮影

*1 河川災害復旧等関連緊急事業(復緊急事業)とは、激甚な災害が発生した上流部での災害復旧等の事業に関連し、下流部での流量増加への対応が必要な区域について、河川の改良に関する事業を緊急に実施することにより、再度災害の防止を図ることを目的とした事業です。

うしろだに 後谷地すべり対策事業（水辺の楽校^{がっこう}）の完成

富山県小矢部市

1. 事業の概要

1) 地すべり対策

小矢部市後谷地区においては、近年斜面のクラックなどの地すべりの兆候が顕著となってきました。また、斜面下部には石動^{いするぎ}小学校や人家密集地があり、地すべり発生時に甚大な被害が及ぶ危険性が高い地区です。

このため、地すべりの誘因となる地下水の排除のための集水^{しゅうすい}井、集水ボーリングなどの地すべり対策工事を実施してきました。

2) 水辺の楽校プロジェクト

石動小学校の児童に対する地すべりの学習の場を提供し、土砂災害に対する知識の向上を図るため、地すべり箇所では全国で初めて当地区を「水辺の楽校」に登録し、整備を図ってきました。

水辺の楽校整備は、石動小学校の先生や児童の意見を積極的に取り入れ、観察路や観測設備など斜面の観測設備のほか、排除された地下水の観察池などを整備しました。現在は、県や NPO 法人富山県砂防ボランティア協会などによる子供砂防教室が開催されています。

2. 事業の経緯

- 平成8年度 地すべり対策事業に着手
- 平成10年度 「水辺の楽校プロジェクト」に認定

3. 平成16年度の要求内容

管理用道路の整備を行い、地すべり対策事業を完させます。



後谷地区全景



地下水位観測状況



横ボーリング排水量測定状況

とやまかいがん 富山海岸侵食対策事業の完成

富山県富山市

1. 事業の概要

1) 目 的

富山海岸は、富山湾の中央に位置し、背後には人家、学校、病院および下水処理場等が点在しているとともに、主要地方道富山魚津線、一般県道富山朝日自転車道線が通り、さらにレクリエーション施設としてプール、キャンプ場等があり、広く県民に親しまれています。

また、富山海岸の現状は富山湾特有の寄り回り波や冬期風浪により、海岸の浸食が著しく、一部では砂浜が消失しつつあります。

そこで、当海岸で、侵食防止および背後地への越波防止を図るとともに、景観、海浜の利用およびアクセスの向上を目指した施設を配置し、背後地の利用も考慮した一体的な海岸環境の整備を進め、平成16年度に完成させます。

2) 全体計画

事業期間：昭和41年度～平成16年度

事業延長：4,470m

全体計画：人工リーフ 2基、離岸堤 28基、緩傾斜護岸 3,962m

2. 平成16年度の要求内容

常願寺川河口左岸付近の緩傾斜護岸を実施し事業を完成させます。



施工前 平成13年9月)



施工後 平成15年8月)

緩傾斜護岸の施工状況

お お の が わ 大野川床上浸水対策特別緊急事業の完成

石川県金沢市

1. 事業の概要

1) 目 的

大野川では、平成10年9月22日の台風7号による出水により、金沢市湊地区周辺において床上37戸、床下77戸の浸水被害を被った他、過去10年間に9回と度重なる浸水被害が発生しています。

堤防高さ不足による溢水等再度災害の発生を防止するため、平成13年度に着手した床上浸水対策特別緊急事業を平成16年度に完成させます。

2) 全体計画

全体計画延長 L=2, 0 0 0m (清湖大橋～貯木場水門)

2. 平成16年度の要求内容

築堤、護岸を実施し事業を完成させます。



平成10年9月22日出水による浸水状況（金沢市湊地先）



金沢市湊地先築堤の施工状況（平成15年7月撮影）

主要地方道氷見田鶴浜線の完成

石川県鹿島郡鹿島町

1. 事業の概要

主要地方道氷見田鶴浜線は、氷見市を起点とし途中鹿島町等を経由し田鶴浜町に至る幹線道路です。

富山県境の山間部における現道の幅員狭小、線形不良区間及び冬期通行規制区間の解消を図るため、コスト縮減が図られ、短期間での整備が可能な1.5車線の道路による事業です。

2. 事業の経緯

平成15年度に事業着手し、幅員狭小区間の待避所等の整備を促進しています。

3. 平成16年度要求の概要

平成16年度は、幅員狭小区間、線形不良区間の1.5車線の道路整備（待避所の設置、視距確保等）を促進し、事業を完成させます。



1.5車線の道路整備（待避所の設置）

一般国道41号 ^{いのたににれはら}猪谷楡原道路の整備推進
^{ねいほそいり}富山県婦負郡細入村

1. 事業の概要

猪谷^{いのたに}楡原^{にれはら}道路は、一般国道41号の事前通行規制区間の解消、幅員狭小による除雪障害等の解消を目的とした富山県^{かみに}上新川郡^{いかわ}大沢野町^{おおさわのまち}小糸^{こいと}から婦負郡^{ねい}細入村^{ほそいり}楡原^{にれはら}に至る延長約6.6kmの事業です。

2. 事業の経緯

本事業は、地域高規格道路「^{とやまたかやま}富山高山連絡道路」の一部であり、平成８年度に整備区間指定され、平成９年度に事業化し、平成１２年度にルート発表を行っています。

また、平成13年度に用地買収、平成14年度に工事着手しています。

3. 平成16年度の実施内容

平成16年度は、細入村庵谷から楡原間の用地買収を完了し、改良及び橋梁工事を推進します。



災害危険区間を迂回する猪谷楡原道路

新潟港海岸（西海岸地区）の整備推進

新潟港海岸：新潟県新潟市

1. 事業の概要

新潟港海岸（西海岸地区）は、著しい侵食傾向にある海岸であったことから侵食対策工事が行われてきました。しかし、日本海側特有の冬季波浪により施設前面の海底が侵食され崩壊の危険があったことから、恒久的な対策と併せて快適で潤いのある海岸環境の創出が可能となる「面的防護工法」により整備を行っています。

2. 事業の経緯

新潟港海岸（西海岸地区）は、大規模な面的防護工法の先駆として昭和61年度より直轄による侵食対策事業に着手して以来、「国土保全」という観点から着々と整備が進んでいます。一方、市民からは過去に失われた白砂青松を蘇らせて「憩いの場としての海岸」を創出することが強く求められており、「ふるさと海岸整備事業」として快適な海岸空間の創出に向けて事業を進めており、平成28年の完成を目指しています。

3. 平成16年度概算要求の内容

突堤・離岸堤(潜堤)および護岸(養浜)の整備推進を図ります。



新潟港海岸（西海岸地区）イメージパース

耐震岸壁（旅客船ターミナル）の整備推進

七尾港：石川県七尾市

1. 事業の概要

大規模地震発生時における物流機能の確保や住民の避難、緊急物資輸送に対処するために既存施設の耐震化を行い、併せて観光やレクリエーションの拠点とするため旅客船ターミナル(水深7.5m)として整備を行います。

2. 事業の経緯

平成7年度に事業に着手し、整備しているものです。

3. 平成16年度概算要求の内容

引き続き本体工などの整備推進を図ります。



七尾港旅客船ターミナル イメージパース

福井港海岸 直轄海岸事業の整備

福井港：福井県福井市

福井県坂井郡三国町

1. 事業の概要

福井港海岸では既存護岸前面で侵食が生じており、さらに日本海特有の冬季風浪とも相俟って、護岸前面消波ブロックの飛散による被災、越波による被災及び護岸背後水叩きの陥没被災が続いています。

このため、国民の生命・財産を守り国土保全を図ることを目的として、既存護岸の改良及び離岸堤の整備を要求します。

2. 事業の経緯

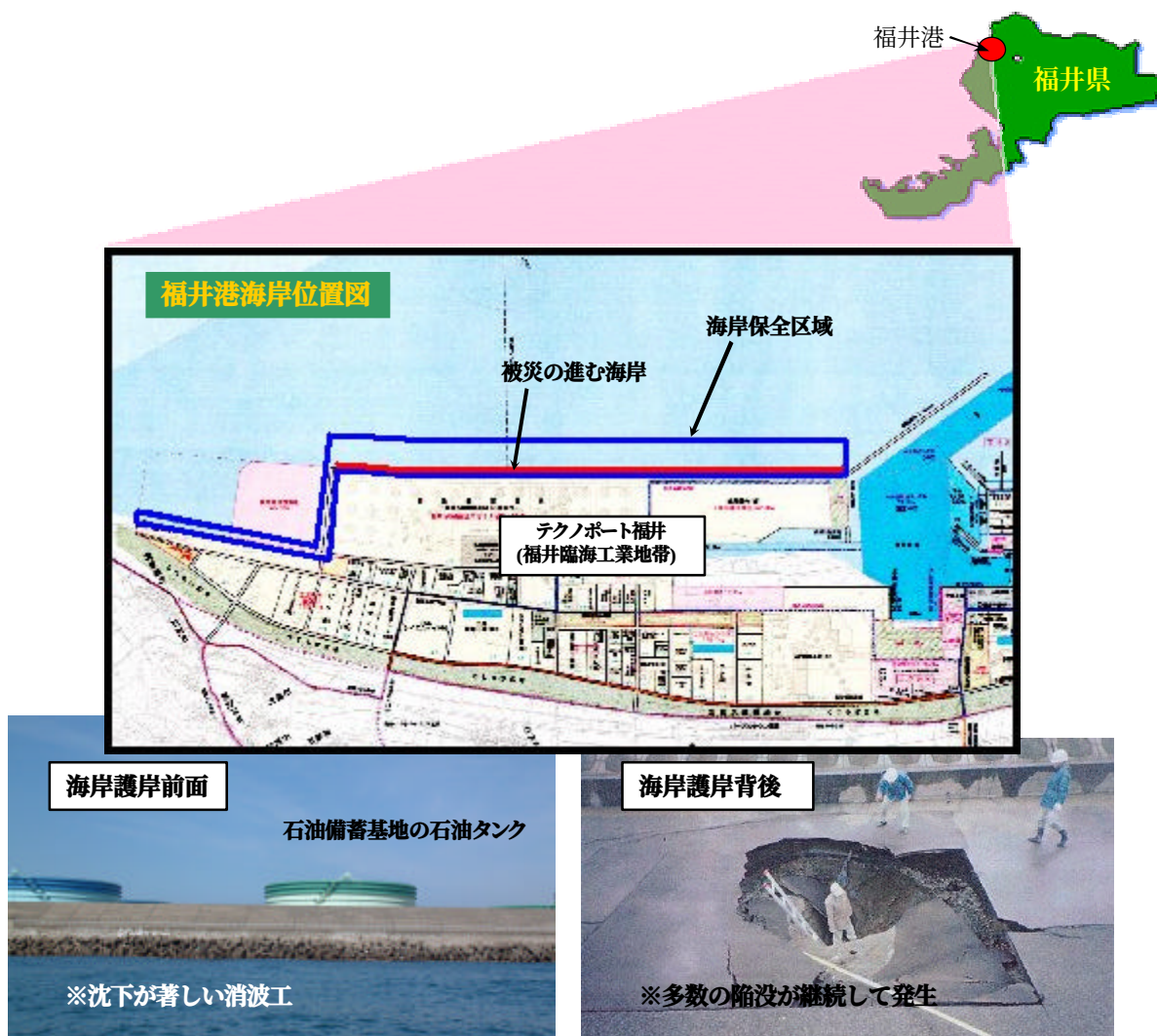
平成16年度 調査・設計着手予定

平成17年度 工事着手予定

平成29年度 工事完成予定

3. 平成16年度要求の概要

平成16年度は、早期現地着手に向けた調査・設計に着手する予定です。



敦賀港海岸（松原地区）の整備推進

敦賀港：福井県敦賀市

1. 事業の概要

松原海岸は「気比の松原」として日本三大松原の一つに数えられている国の名勝地であり、昔ながらの日本の海岸を代表する白砂青松の風景を呈していました。昭和30年頃より海浜が侵食されはじめ、昭和52年頃までに最大約15mの汀線後退を見せており、早急な侵食対策が望まれています。

2. 事業の経緯

平成6年度より「自然豊かな海と森の整備事業（白砂青松）」として離岸堤、養浜等による面的防護工法により砂浜の復元を図ると共に、背後の国有林と一体となった利用しやすい海水浴場とすることを目指して整備を行っています。

また、当該地区は景勝地となっていることから「エコ・コースト事業」により風景を壊すことなく景観に配慮した整備を行っています。

3. 平成16年度予算の内容

引き続き、養浜の整備推進を図ります。



敦賀港海岸（松原地区）の現況

西川下流域雨水対策事業の完成

新潟県新潟市（新潟市公共下水道事業）

1. 事業の概要

1) 目的

新潟市は平成10年8月4日の集中豪雨により西川下流部の坂井輪地区及び小新地区で床上・床下の浸水被害が発生しました。そこで、緊急的かつ恒久的な雨水対策として、下水道による雨水排除の整備水準を5年確率から10年確率に引き上げ、今後の浸水被害の抑制を図るべく平成11年度より国土交通省、新潟県、新潟市の各管理者が一体となって事業を行っています。

2) 全体計画

- ・新潟市 雨水バイパス管 管径φ3750mm 延長 650m (H11～H14)
管径φ3500mm 延長 1,582m (H12～H16)
- 小新ポンプ場 排水能力 25m³/秒 (H12～H16)
- ・国 西川第二排水機場の新設（排水能力 25m³/秒）
- ・新潟県 西川の河道改修（既設堤防の嵩上げ）

2. 事業の経緯

平成11年度より基本計画調査に着手

平成12年度より小新ポンプ場、雨水バイパス管の整備に着手

平成17年度小新ポンプ場供用予定

3. 平成16年度の実施内容

前年度に引き続き小新ポンプ場と雨水バイパス管の整備を行い、事業完成を目指します。



坂井輪地区の湛水状況【H10年8月】



雨水専用バイパス管の予想図

